

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月13日

事業所名:多機能型事業所 つばめ療育館 親子館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・国の指定基準以上のスペースを確保している。 ・必要な用具の出し入れを適宜行い、集中力が途切れないように工夫している。 ・1日の実利用者(6名程度)に適した支援室で身体調和支援(マッサージ)・運動課題・個別課題のプログラムを提供している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・技能訓練担当職員(作業療法士等)を含めて国の指定基準以上の職員を配置している。 ・曜日や時間帯によっては、職員不足となることがある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の段差はなく、トイレを含め事業所内はバリアフリー化されており、過ごしやすい環境に整えている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・支援を行う前の時間帯に、常勤指導員で振り返りを行い、可能な限り放課後等デイサービス計画の目標設定に反映させるようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・指摘された改善箇所等は、適宜改善している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1	<ul style="list-style-type: none"> ・集計ができた後には、会報やホームページ等で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第三者評価を受審し、保護者等にアンケートを実施し、指摘事項に対して改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、を講師に、支援環境の改善から個別支援の質の向上のための専門的な指導を受けています。 ・発達支援コンサルタント(保健師)が主催する年100時間程度の専門研修に毎年数名の職員が受講している。併せて、修了者も8時間の再受講によりスキルを高めている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援コンサルタントの定期的な改善評価や日々の指導員評価を基に、アセスメントを行っている。 ・保護者等と定期的に面談を行い、ニーズを尊重しながら当方のアセスメント結果に反映させた放課後等デイサービス計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、「感覚統合発達記録表」「遠城寺式発達検査表」「WISC-IV」等を用いて症状把握を行い、放課後等デイサービス計画に活かしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所の作業療法士、言語聴覚士、保育士等の専門性を集結し、改善効果を追求した活動プログラムを目指している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の年齢や能力に応じた個別支援に心がけている。 ・具体的な改善効果に着目し、改善がみられないようなら、課題の着眼点を変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は、身体調和支援(マッサージ)、運動課題、個別課題の流れの中で、年齢、能力に応じた個別支援の視点で改善に努めている。 ・休日、長期休暇は、平日のプログラムの合間に野外活動を取り入れて、メリハリのあるサービスを提供している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・「身体調和支援(マッサージ)」「運動課題」「個別課題」の基本プログラムには、個別課題と集団課題の切り替えに対応できる力の獲得を目指し、放課後等デイサービス計画に反映している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・前日のサービス提供後に翌日の役割分担表を掲示し、各自が確認し、当日再確認している。 ・支援時間が足りない時があるが、役割分担の下で工夫し内容が重ならないようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りは、翌日の児童発達支援のサービス提供後の時間帯(45分程度)に行い、気づいた点等を共有している。 ・職員の欠勤状況等によっては行えない日があるため、職員の増員等、改善に向けて努める。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日々、職員が共有できるソフトを活用し、利用後の記録をとっている。 ・記録を基に、支援の検証・改善に反映している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・最低半年に一度のモニタリングを行い、利用者の状況に合わせて放課後等デイサービス計画を見直している。 ・その際の修正ポイントのメモや会議録を残している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに準じて支援計画を作成している。

	⑳	運動(感覚統合)は安全面に配慮して行われているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な専門遊具を使用することのリスクを想定し事故防止に努めている。 ・「順番を守る」「利用者の特性に応じる未然防止体制」「遊具の出し入れによる安全スペースの確保」等、徹底して安全面を重視している。
適切な支援の提供	㉑	その子どもに合った課題が用意されているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、利用者にあったレベルの課題を提示している。 ・集団課題・運動時など、簡単すぎたり、難しすぎたりしてしまう場合には、すぐさま検証し、変更するようにしている。
	㉒	身体調和支援(マッサージ)について、技術の研鑽は行われているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、数名の職員を発達支援コンサルタント(保健師)が主催する100時間程度の専門研修を受講し、保護者に対しても、家でもできる発達支援の手技を指導している。
関係機関や保護者との連携	㉓	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・技能訓練担当職員(作業療法士等)、保育士、児童発達支援管理責任者が、必要に応じてサービス担当者会議に参画している。
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・学校から毎月いただく「学校だより」や「行事予定」により、行事予定や下校時間を把握している。 ・下校時間等の変更は、保護者から連絡をいただいている。 ・トラブル等は、保護者の了解を得ながら適宜、学校に報告している。
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作に限り、医療機関の事前指導により体制を整えている。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園とは、情報の共有や必要な場合は連携会議を開催している。 ・関係機関との連携が必要な場合には、速やかな対応している。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・移行等の状況が発生した場合、保護者の承諾を得て、「情報提供書」を作成し、関係機関へ提供している。 ・より専門的な視点で伝えるため、作業療法士や言語聴覚士が作成を担当している。
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童発達支援事業所からの見学を適宜受け入れている。 ・児童発達支援センターや発達障害者支援センターとは、今のところ特に接点はない。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				6

	③⑩	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		1	・令和4年度より地元行政から「療育支援部会」の参画依頼がきた。
	③⑪	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・保護者とは、お迎え時、連絡帳、マイページ、電話、メール等で利用児の状況や課題について随時連絡を取り合っている。
関係機関や保護者との連携	③⑫	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	・利用児童のお迎え時に、日々の様子を交えて家でもできる発達改善に関わる手技などをお伝えしている。 ・希望があれば、発達支援コンサルタント(保健師)の個別指導を行っている。
	③⑬	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・見学時や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っている。
	③⑭	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・保護者からの悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針をお伝えすることを原則としている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		5	・限られた利用期間の中で、特に父母の会や保護者会等の必要性は感じていない。
	③⑯	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情に対しては真摯に受け止め、マニュアルに基づき速やかに事業所内で対応し、改善に努めている。
保護者への説明責任等	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月会報(おたより)を発行し、近々の情報を発信している。 ・保護者のマイページを開設いただき、活動の様子などを翌日に発信している。 ・ホームページで、研修会等の情報を適宜発信している。
	③⑱	個人情報に十分注意しているか	6			・個人情報取扱規程に基づき、厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促している。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールで対応している。 ・利用者には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達も行っている。
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	・発達支援コンサルタント(保健師)を講師に、「早期発見・早期支援」の大切さをテーマにした講演会を随時、開催している。
非常時等	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			・各種マニュアルを作成し、保護者に見やすい場所にファイリングして掲示している。

の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・年2回、地震、火災に対する避難訓練を実施している。
非 常 時 等 の 対 応	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・虐待防止マニュアルを作成し、虐待防止関連の認識を強めている。 ・虐待防止をテーマにした職員研修を実施し、チェックシートの記載等で強調している。
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・「利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除いて、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行いません。」と、利用契約書に具体的義務として記載し、契約時に説明している。 ・クールダウンが必要な時は、状況に応じて別室で対象の利用者に職員がマンツーマンで対応し、保護者に説明している。
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			・これまで当館において医師の指示書に基づくアレルギーケアを必要とする利用はない。 ・必要な際には、医療機関との連携を密にして対応していく。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・インシデント報告書を作成し、パソコンの共有ソフトにより速報で伝えている。 ・内容によっては、即時対応策を講じている。 ・軽微な事項については、毎月の法人運営会議で対応策を決定し、全職員に周知している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、各自の評価をまとめた自己評価です。